

(3-1) 学校跡地を核としたまちの活性化

【業績目標】

- ▶活用事業者の公募実施
生野小、生野南小、林寺小
- ▶活用に向けた商品化
御幸森小、生野小、生野南小、林寺小

◆今後の方向性

マーケットサウンディングにおいて確認できた、事業者の活用提案内容を踏まえつつ、活用条件等の整理を行ったうえで、活用事業者の公募を進める。



このまちづくり構想を基に生野南小学校の具体的な活用方針をまとめたものが、本活用計画(案)です。

生野南小学校跡地活用計画案（抜粋）

(3-1) 学校跡地を核としたまちの活性化

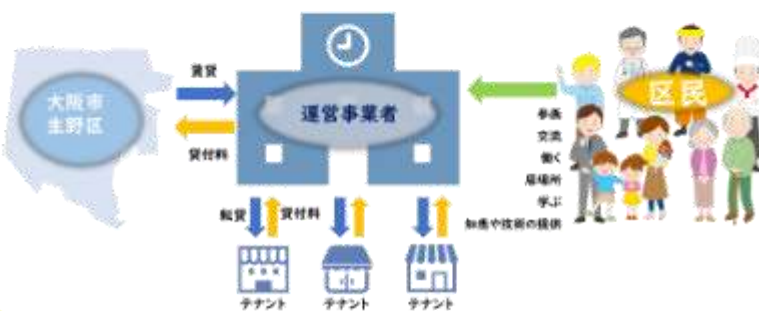
6

持続可能な運営スキーム

民間のノウハウを活用して、地域および行政との協働により、自律的で持続可能な運営を行います。

ひとつの事業者が区から施設全体を借り上げて運営する形態を基本

小学校全体の企画・投資・マネジメント



賃付方法	借地借家法上の定期建物賃貸借契約(建賃)
賃付期間	20年間以上 ※市場性を勘案して決定
賃付料	「賃貸借料基準額(月額)」を定め、基準額以上の提示

主な費用負担

負担者	費用項目
運営事業者	- 事業に伴う改修・改築(初期含む)に要する費用 - 施設全体にかかる維持管理費 - その他事業に伴う維持管理費等
区市	施設の大規模修繕費用(外壁改修工事、屋上防水改修工事)



防災機能と地域コミュニティ機能

施設の運営にあたり、事業者、地域および行政の三者による協議体を設置し、施設運営全般(防災・地域活動含む)について協議します。



防災機能

災害時に地域住民が安全に避難できるスペースに!

「講堂」「運動場」「多目的室」「11教室以上」を開放する

地域活動を継続的に

これまでの地域活動についても、地域ニーズ・意向を踏まえ、生野南小学校跡地において継続して実施

地域コミュニティ機能

(1-4) 持続可能な地域公共交通の推進

◆取組の進捗状況

- ・ 生野区地域公共交通検討会（9月開催中止）
→ 区ホームページ上での資料提供及び社会実験に関する意見募集を実施
- ・ 福祉こうつう会議（5月・8月開催中止）
→ 11月以降開催予定



地域公共交通検討会の様子（令和2年度）



(1-4) 持続可能な地域公共交通の推進

◆業績目標

「生野区地域公共交通検討会」などにおける「新たな地域公共交通」の認知度、理解度 60%以上

◆現状・課題

- 赤バス廃止等により、交通不便地域が生じており、地域の特性や実情を踏まえた安定的な移動手段の確保が求められている。
- 日常生活の移動に影響のある地域が存在し、さらに、近年高齢者の自転車事故が多く発生していることなど、公共交通の重要性・必要性はますます高まっている。

◆今後の方向性

引き続き、オンデマンドバスの社会実験の進捗状況を見ながら、地域公共交通検討会等を開催してくとともに、オンデマンドバスの認知度向上に向けた取組みを進めていく。

(2-1)「生野の魅力」の発掘・浸透

◆取組の進捗状況

- ・ 広報紙の全戸配布の実施（通年）
- ・ 区広報紙にてテーマを設定した**特集記事・連載記事の作成**（毎月）
- ・ その他各種広報ツールを活用し、まちに魅力を感じるような情報発信
- ・ 生野区公式ブログ「チームいくみん通信」
（5件投稿・13,677件ビュー 8月末時点）
- ・ 各種イベント等の報道提供、メディアへの積極的な情報提供
（7件提供・1件取り上げ：8月末時点）



(2-1)「生野の魅力」の発掘・浸透

・ 公民連携による「シティプロモーション」の推進

「(一社) いくのもり」と連携した情報発信

「(株) 大都」「Greensnap (株)」と連携し、新型コロナ禍での新しい形の魅力発信としてスマホアプリ上で花と緑のフォトコンテストを開催



からふる生野区フォトコンテスト



(株)大都、GreenSnap(株)事業連携協定締結式

【業績目標】

- ・ 公式ブログのビュー数の年間目標：18,000件
- ・ 提供した情報がメディアで取り上げられた回数：12回以上

(2-1)「生野の魅力」の発掘・浸透

◆課題など

- ・ 生野区の魅力を発掘し内外に浸透させていくことが必要。
 - 生野区に住んでいる方が感じている区の魅力や、子育て層が移り住みたいと思う情報、若者が訪れたくなるような情報の発信強化

【今後の方向性】

- ・ 生野区のまちを持続可能で発展するまちとするため、**区内の魅力の発掘・発信や資源（ヒト・モノ・カネ）の循環の活性化といった、シティプロモーション戦略**、特に、若年・子育て層への効果的な情報発信に取り組む
- ・ **公民連携によるシティプロモーションの推進**に向けて、引き続き取り組む

(2-2) 区民のわがまち意識を育てる

◆取組の進捗状況

- ・生野区を盛り上げるためのさまざまな取組を自主的に行っている区民や団体等の活動紹介・応援（PR協力）等の広報支援

「持続可能なまちづくり事業」に認定された
団体事業の特集記事の掲載
(広報紙：7月号半面特集) など

- ・区内中学校等における「やさしい日本語」
講座開催



- ・マスコットキャラクター「いくみん」
ラインスタンプ販売：28件

- ・地域イベント等へのプレイスメイキンググッズ（机・いす等）の貸出し
(プレイスメイキング事業)

令和2年2月に「生野区持続可能なまちづくり支援事業」として認定！ /
マイノリティの安心できる社会への相互扶助システムの構築
～全ての人が安心して暮らせる社会へ～

LGBTQって？

レズビアン
女性を恋愛対象とする女性

ゲイ
男性を恋愛対象とする男性

バイセクシュアル
異性・同性のどちらも恋愛対象とする人

トランスジェンダー
生まれた時の体の性別と異なる性で
生きる人・生きたいと望む人

クエスチョニング/クイア
自分のセクシュアリティがまだ分からない・決めたくない人
従来の性の規範に当てはまらない人
(全てのセクシュアルマイノリティを含む)

LGBTQについて学びたい人、友達を作りたい人、
LGBTQ当事者でなくても大歓迎です。
理解し合い、助け合える場を一緒に作りましょう。
もちろん楽しみながら！
イベント参加のお申し込みや、お問い合わせ、
講師のご依頼など、いつでもお待ちしております！

法人のHPは
こちらから

特定非営利活動法人カラフルブランケット 理事長 康 純香さん
(写真：毎日新聞提供)



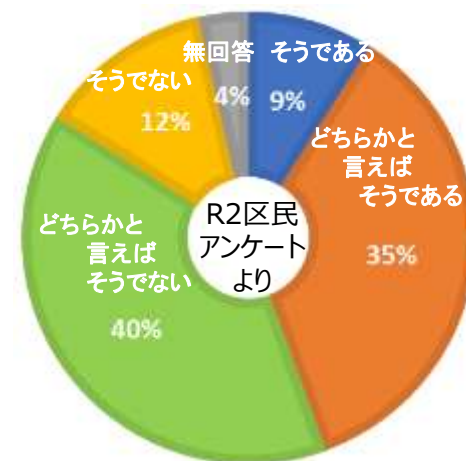
(2-2) 区民のわがまち意識を育てる

【業績目標】

生野区を盛り上げるさまざまな取り組みが各地域で行われていることを知っている区民の割合：60%以上

◆課題など

区民アンケートからもわかるように、区民が自分のまち生野区への魅力を感じ、誇りに思うといった「わがまち意識」がまだまだ十分ではなく、そのための区民の満足度を引き続き高めていく必要がある。



生野区は、様々な人々が訪れ、住みたいと感じられるような魅力あるまちだと感じますか。

【今後の方向性】

区民のまちに対する愛着や誇りといった、いわゆる「わがまち意識」醸成のため、シティプロモーションの一環として、**区民が持つ生野区に対するイメージや評価の向上に向けて取り組む。**

生野のまちづくりに区民が積極的に参加していることを発信し、**まちづくりへの一体感の醸成に取り組む。**

(3-1) 地域活動協議会（まち協）の自律運営促進について

◆取組の進捗状況

- ・地域課題の発見、共有、解決に向けた会議「地域虎の巻会議」等の開催 2 地域
- ・気軽に誰もが参加でき、交流できる場の提供（まちカフェ） 6 回
- ・まちづくりセンターによる、まち協と企業等の連携支援 12件
- ・区役所内にまち協の情報発信コーナーの設置（随時）
- ・各地域現状や課題等を情報共有するための「ブロック担当者会議」の開催 6 回
- ・連合振興町会長において行政情報の提供 1 回
- ・町会加入促進の案内チラシの配付やHPでの広報（随時）



地域虎の巻会議



区役所内まち協情報発信コーナー

(3 - 1) 地域活動協議会（まち協）の自律運営促進について

【業績目標】

- ・まちづくり協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができると感じた割合：92.7%以上
- ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合：80.9%以上
- ・まち協を知っている区民の割合：52.4%以上

地域まちづくり協議会の取り組み例



各種事業：百歳体操

(3-1) 地域活動協議会（まち協）の自律運営促進について

◆課題

- ・地域活動の担い手の高齢化が進んでおり、新たな人材の発掘は急務となっている。

【今後の方向性】

- ・コロナ禍により地域活動が停滞していたが、今後も、誰でも気軽に参加し交流できるイベントを開催し、まちづくりセンターの支援のもと、さらなる自律に向けた取り組み実施していく。



新たな担い手の育成に向けた交流会（まちカフェ）の様子

